

令和 7 年度事業計画

公益財団法人 阿蘇地域振興デザインセンター

I. 概 要

<令和7年度事業基本方針>

令和7年度は、公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンターの第4期「中期計画」（令和4年度～8年度）の4年目にあたることから、これまでの事業効果や進捗状況を検証し、次期中期計画に向けた準備等を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症や人口減少による人手不足などにより人々に生じた行動変化に対応するため、令和6年度に引き続き、人や地域との関係づくりに重点を置き、当計画のコンセプトである『阿蘇 リレーション ～つながる阿蘇～』の到達を目指し、地域住民と阿蘇地域を訪れる人々にとって魅力あふれる持続可能な阿蘇づくりを推進します。

また、具体的な取組みを進める上で、中期計画期間（5年間）のキーワードとして掲げた『人材育成』『関係人口』『伴走支援』を柱に、地域づくりの担い手を育てるとともに、移住定住対策に加えて関係人口拡大に向けた取組みを重点的に進めます。同時に観光振興、起業化支援、人的ネットワークの拡充に取り組み、地域に還元します。

<令和7年度の主な取り組み概要>

- ① 地域振興分野では、これまでに様々な成果が上がっている「あそ未来創造塾」や「観光地域づくりリーダー育成講座」などの「人材育成事業」に引き続き取り組むこととし、「阿蘇地域を担う次世代や新しい業」の育成を図るため、積極的な「伴走支援」に努めます。
- ② 観光振興分野では、TSMCの熊本進出による交流人口の増加や阿蘇くまもと空港国際線（高雄、韓国、ソウル、釜山）の運行に伴う利便性の向上により、海外からの旅行者がさらに増加することが見込まれています。特に阿蘇地域においては、今後ミニツアーへの需要が高まることが予想されることから、引き続き阿蘇くまもと空港内での広報活動の継続や顧客を多く持つ台湾甲種旅行社との連携強化を図ります。

また、観光庁事業を活用し、地域の多様な観光資源を生かしたコンテンツや高単価な特別体験商品の造成を行います。

さらに、新たなアクティビティとして、令和6年度から取り組んでいる観光DXを織り込んだデジタルバッジキャンペーンを本年度も開催し、阿蘇地域全体で観光消費額の拡大を促進します。

<基本財産運用に関して>

米国トランプ大統領の就任に伴う各国への関税強化措置により、当財団の基本財産収入の主たる参照為替通貨である豪ドルの下落も予想されており、基本財産運用益の見通しが不透明な状況です。

<公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター公益事業について>

(令和4年度～8年度 中期計画)

公益目的事業1 豊かな自然による世界ブランドの確立～阿蘇草原の維持・再生～

(取組み1 地域資源を磨き上げる)

ア 草原再生PR事業

(1-① 草原再生保全支援事業)

イ 野焼き支援事業

(1-② 野焼き支援事業)

ウ 阿蘇製品の振興

(1-③ 阿蘇資源の発掘とブランドマネジメント)

エ 世界ブランド事業の推進

(1-④ 世界ブランド事業の推進)

公益目的事業2 地域の元気再生による地域力向上

(取組み2 人を育て活動を支える)

ア 地域元気再生支援事業

(2-① 住民主体による地域づくり活動の支援)

イ 的確な情報の発信

(2-④ 情報の一元化と戦略的な情報発信)

ウ 阿蘇回帰運動への取り組み

(2-③ 阿蘇ファン拡大に向けた取組み)

エ 人材育成事業

(2-② 地域づくりを担う人材の育成)

公益目的事業3 広域連携による競争力のある観光地づくり

(取組み3 人や資源をつなげ新たな価値を生み出す)

ア 新たな阿蘇資産の構築・推進

(3-① 付加価値の高い新たな阿蘇資産の創出)

イ 何度も訪れたくなる観光地域づくり

(3-② 何度も訪れたくなる観光地域づくりの推進)

ウ 広域連動型観光まちづくり事業

(3-③ 市町村連携による観光地域づくりの推進)

<令和7年度収支予算>

○収入について 100,057千円・・・①

(内訳) 基本財産運用益・・・・・・ 76,257千円
受取国庫補助金・・・・・・ 22,500千円 (観光庁事業)
受取負担金・・・・・・ 1,250千円 (高千穂町観光協会)
雑収入 (普通預金利息)・・・・ 50千円

- ・運用益については、平均で米ドル 150円 豪ドル92円と予測する。
- ・補助金、負担金等については、現段階での見込額である。

○支出について 109,660千円・・・②

・人件費按分前の支出見込額
(内訳) 事業費・・・・・・ 78,465千円
管理費・・・・・・ 31,195千円

人件費按分後の支出見込額
(内訳) 事業費・・・・・・ 91,807千円
管理費・・・・・・ 17,853千円

- ・事業費については観光庁補助事業等が未確定のため変動が予想される。

○単年度収支差額 ①－②＝ ▲9,603千円・・・③

○前年度 (R6年度) 繰越見込額 5,800千円・・・④

○繰越収支差額見込額 ③＋④＝ ▲3,803千円

<中期計画に基づく事業計画>

(公財)阿蘇地域振興デザインセンターの中期計画に基づく令和7年度の事業計画の概要は次のとおりとする。

事業番号 (中期計画に おける 取組番号)	事業の内容	個別事業名 (中期計画における取組内容)	予算額 (単位：千円)
公 1 (取組み 1)	豊かな自然 による世界 ブランドの 確立 ～阿蘇草原の 維持・再生～	ア 草原再生 P R 事業 (1 -① 草原再生保全支援事業)	4, 5 0 5
		イ 野焼き支援事業 (1 -② 野焼き支援事業)	1, 5 0 5
		ウ 阿蘇産品の振興 (1 -③阿蘇資源の発掘とブランドマネジメント)	1, 0 0 0
		エ 世界ブランド事業の推進 (1 -④ 世界ブランド事業の推進)	1 2, 5 0 5
		(公 1 事業費計)	1 9, 5 1 5
公 2 (取組み 2)	地域の元気 再生による 地域力向上	ア 地域元気再生支援事業 (2 -① 住民主体による地域づくり活動の支援)	6, 0 5 0
		イ 的確な情報の発信 (2 -④ 情報の一元化と戦略的な情報発信)	4, 0 0 0
		ウ 阿蘇回帰運動への取り組み (2 -③ 阿蘇ファン拡大に向けた取組み)	1, 1 0 0
		エ 人材育成事業 (2 -② 地域づくりを担う人材の育成)	4, 7 0 0
		(公 2 事業費計)	1 5, 8 5 0
公 3 (取組み 3)	広域連携 による 競争力のある 観光地づくり	ア 新たな阿蘇資産の構築・推進 (3 -① 付加価値の高い新たな阿蘇資産の創出)	4, 4 0 0
		イ 何度も訪れたくなる観光地域づくり (3 -② 何度も訪れたくなる観光地域づくりの推進)	3, 2 0 0
		ウ 広域連動型観光まちづくり事業 (3 -③ 市町村連携による観光地域づくりの推進)	3 5, 5 0 0
		(公 3 事業費計)	4 3, 1 0 0
事業費合計 (人件費按分前)			7 8, 4 6 5

Ⅱ．事業内容

【公益目的事業1 豊かな自然による世界ブランドの確立～阿蘇草原の維持・再生～】

(取組み1 地域資源を磨きあげる)

阿蘇特有の草原をはじめとした豊かな地域資源を阿蘇地域全体の地域活性化につなげていくため、地域資源を発掘し、維持・継承を支援するとともに、世界に通じるブランドとして確立するための取組を展開していきます。

ア 草原再生PR事業

(1-①草原再生保全支援事業)

事業内容	阿蘇が有する広大な草原は、千年もの間、人々の生業とともに維持されてきたものであり、草原の持つ、畜産、農業、水源涵養、観光といった多面的な機能を次世代へと継承していくため、その価値や現状を地域内外に発信し、草原の維持・再生に向けた普及・啓発に取り組みます。 【1 阿蘇草原保全支援システムへ負担金】	
予算額	【総額】 4, 505 千円	
	① 阿蘇草原保全支援システム負担金	4, 500 千円
	② 事務経費	5 千円

イ 野焼き支援事業

(1-②野焼き支援事業)

事業内容	阿蘇の草原を維持するためには、毎年、放牧・採草・野焼きが必要です。担い手の高齢化や後継者不足を解消するため、地域内外からのボランティアが野焼き支援や輪地切り活動を支えています。 阿蘇草原再生協議会や阿蘇草原保全支援システムと連携を図り、野焼き支援をはじめとする草原再生に取り組みます。 【1 阿蘇草原保全支援システムへ負担金】	
予算額	【総額】 1, 505 千円	
	① 阿蘇草原保全支援システム負担金	1, 500 千円
	② 事務経費	5 千円

ウ 阿蘇産品の振興

(1-③阿蘇資源の発掘とブランドマネジメント)

事業 内容	あか牛をはじめとする阿蘇地域の畜産や農産物、食文化や景観、人々の暮らしや生業など、多様な阿蘇資源を再発見（リディスカバリー）・再生（リバーズ）し、その魅力を発信します。また、阿蘇資源が次世代に継承され、阿蘇の世界ブランド確立の礎となるよう、イベントや各種 PR を通してブランド価値の維持と向上に取り組みます。 【1 「販路開拓・拡大キャンペーン」事業】 SDGs における 15 番「陸の豊かさを守ろう」の活動として、地域で育てたものを、その地域で消費する地産地消及びその地域で販売する地産地商は、地域資源の保護にも繋がります。 この視点に立ち「地元の食材を地元で食べたい」という消費者のニーズに応えるキャンペーンを行うことで、交流人口の創出を図ると共に、SDGs にも寄与します。 ・「阿蘇の食卓」の増刷  ▲阿蘇の食卓 Vol.3「阿蘇珈琲物語」 【2 阿蘇地域を巡るフットパスコース魅力化事業】 阿蘇地域を巡るフットパスコースの更なる 利活用を進めるために、新たな事業を構築します。 同時に阿蘇産品の PR も行います。 (高森町の上色見コースを予定)  ▲第3回フットパス魅力化事業						
予算額	【総額】 1, 0 0 0 千円 <table border="1"> <tr> <td>① 「販路開拓・拡大キャンペーン」事業</td> <td>4 0 0 千円</td> </tr> <tr> <td>② 阿蘇地域を巡るフットパスコース魅力化事業</td> <td>5 0 0 千円</td> </tr> <tr> <td>③ 事務経費</td> <td>1 0 0 千円</td> </tr> </table>	① 「販路開拓・拡大キャンペーン」事業	4 0 0 千円	② 阿蘇地域を巡るフットパスコース魅力化事業	5 0 0 千円	③ 事務経費	1 0 0 千円
① 「販路開拓・拡大キャンペーン」事業	4 0 0 千円						
② 阿蘇地域を巡るフットパスコース魅力化事業	5 0 0 千円						
③ 事務経費	1 0 0 千円						

エ 世界ブランド事業の推進

(1-④世界ブランド事業の推進)

事業内容	平成25年5月の「世界農業遺産」の認定、平成26年9月の「阿蘇世界ジオパーク」の認定に続き、令和4年12月、2回目の世界再認定、阿蘇世界文化遺産の登録推進など、世界に通じるブランド確立に向けた動きを踏まえ、関係団体と連携を図り、「豊かな自然を活用した世界ブランドの確立」に向けて取り組みます。 【1 阿蘇ジオパーク推進協議会への負担金】 世界に通じるブランドを目指す「阿蘇ジオパーク基本計画」を核とした阿蘇ジオパーク推進協議会の活動や新たな展開を支援します。	
予算額	【総額】12,505千円	
	① 阿蘇ジオパーク推進協議会への負担金	10,000千円
	② 日本ジオパーク委員会審査事前確認調査負担金	2,500千円
	③ 事務経費	5千円

【公益目的事業2 地域の元気再生による地域力向上】

(取組み② 人を育て活動を支える)

持続可能な地域づくりのためには、地域づくりを担う人材が必要不可欠です。地域住民により主体的に取り組まれてきた地域づくり活動を支えるとともに、新たな担い手を発掘・育成するための取組を展開します。

ア 地域元気再生支援事業

(2-①住民主体による地域づくり活動の支援)

事業内容	【1 阿蘇地域元気再生支援事業】 想定外の熊本地震やコロナ感染などを体験したことで生まれた地域住民や団体・組織等により、自発的に行われてきた地域の元気を取り戻すための活動や観光行動などに対し、引き続き助成事業を行います。 上記の内容を目的とした各市町村の地域団体や組織が行う事業（自治体の推薦必須）に対し、限度総額750千円の助成（助成金の額は助成対象経費の60%以下）を行い支援します。 令和5年度の事業例▶ 				
予算額	【総額】6,050千円 <table><tr><td>① 阿蘇地域元気再生支援事業助成金</td><td>6,000千円</td></tr><tr><td>② 事務経費</td><td>50千円</td></tr></table>	① 阿蘇地域元気再生支援事業助成金	6,000千円	② 事務経費	50千円
① 阿蘇地域元気再生支援事業助成金	6,000千円				
② 事務経費	50千円				

イ 的確な情報の発信

(2-④情報の一元化と戦略的な情報発信)

事業内容	市町村や関係機関と連携しながら、阿蘇管内にある様々な情報を阿蘇 DC 内で一元化し、阿蘇情報のポータルサイトや各種広報媒体を活用し、戦略的な情報発信を行うとともに、魅力的なコンテンツづくりに取り組みます。 【1 観光情報ポータルサイト「阿蘇ナビ」と関連コンテンツの管理・運営・保守】 阿蘇ナビ (http://aso-navi.com) の拡充を図り、来訪者（特に台湾）に向けて阿蘇地域の旅や食及び交通アクセスなどの情報を発信します。 【2 阿蘇 DC ホームページの管理・運営・保守】 阿蘇 DC 公式ホームページ (http://www.asodc.or.jp/) を引き続き運営し、阿蘇地域元気再生支援事業や各研修会を始めとする阿蘇 DC の事業や活動を広く発信します。 【3 身近な情報媒体などでの情報の発信】 阿蘇地域の CATV やコミュニティ FM や SNS などを活用し、多方面にわたり情報を引き続き発信します。 令和 7 年度も、台湾本国や半導体関連企業の社員などをターゲットにした繁体字による情報発信を継続します。（台湾では Facebook が主流） 台湾向けの Facebook で紹介した繁体字による阿蘇地域の観光や暮らしをまとめた冊子が台湾の旅行社に好評であったことから 7 年度も作成し、引き続き、各種商談会・説明会や県内の TSMC 関係者用に情報を発信します。 【4 情報誌の制作】 阿蘇 DC の事業内容や地域元気再生支援事業の実施などを掲載した情報誌「aso lulu」を制作し、広く一般の方々に情報の発信を図ります。 aso lulu Vol.24▶ 										
予算額	【総額】 4, 0 0 0 千円 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>① 阿蘇ナビの管理・運営・保守</td><td>3 0 0 千円</td></tr> <tr> <td>② 阿蘇 DC ホームページ管理運営費</td><td>5 0 0 千円</td></tr> <tr> <td>③ 身近な情報媒体等での情報の発信</td><td>2, 4 0 0 千円</td></tr> <tr> <td>④ 情報誌の制作 (aso lulu Vol.25)</td><td>5 5 0 千円</td></tr> <tr> <td>⑤ 事務経費</td><td>2 5 0 千円</td></tr> </tbody> </table>	① 阿蘇ナビの管理・運営・保守	3 0 0 千円	② 阿蘇 DC ホームページ管理運営費	5 0 0 千円	③ 身近な情報媒体等での情報の発信	2, 4 0 0 千円	④ 情報誌の制作 (aso lulu Vol.25)	5 5 0 千円	⑤ 事務経費	2 5 0 千円
① 阿蘇ナビの管理・運営・保守	3 0 0 千円										
② 阿蘇 DC ホームページ管理運営費	5 0 0 千円										
③ 身近な情報媒体等での情報の発信	2, 4 0 0 千円										
④ 情報誌の制作 (aso lulu Vol.25)	5 5 0 千円										
⑤ 事務経費	2 5 0 千円										

ウ 阿蘇回帰運動への取り組み

(2-③阿蘇ファン拡大に向けた取組み)

事業内容	人口減少・高齢化により、阿蘇地域でも地域づくりの担い手不足という課題に直面しています。これまでの移住・定住促進だけでなく、阿蘇地域にルーツがある人や居住・滞在経験のある人など、阿蘇地域に何らかの関わりがある人々（関係人口）とのつながりを保つことにより、阿蘇ファンや阿蘇サポーターを増やす取り組みを進めます。 【1 新たな関係人口創出事業】 地域に住む人々だけでなく、地域外から地域の行事などに参加するなどの「関係人口」の存在は、地域住民との交流において新たな価値を生み、地域の活性化や将来的な移住者の増加にもつながることが期待されます。 令和7年度において、関係人口 Web サイトの拡充を図り、地域情報として、つなぎ人を核にした発信を継続しました。 令和7年度も、6年度同様つなぎ人の発掘に努め、内と外の関係性構築に努めます。 【2 大都市圏における関係人口相談事業】 働き方の変化により生まれた大都市圏からの流入の動きが顕著となるなか、ふるさと回帰（移住定住や関係人口）に関する相談の場を設けます。 ・首都圏移住定住相談会 テーマとターゲットを明確にした移住定住相談会をふるさと回帰支援センターセミナールームで開催し、相談者8名のうち3名の方が阿蘇地域に移住。その成果を元に開催します。 令和6年度ふるさと回帰支援センター移住定住相談会チラシ▶  ・福岡都市圏集中移住定住相談会 移住者や地域おこし協力隊において、居住地としてウエイトの多くを占める福岡都市圏をターゲットにした相談会を開催します。 【3 阿蘇地域移住定住研修会】 担当者等の情報交換とスキルアップや先進的な考え方や取り組みについての学習の機会と情報の共有を図るために研修会を開催します。  ▲移住定住担当者研修会								
予算額	【総額】 1, 100 千円 <table border="1"> <tr> <td>① 新たな関係人口創出事業</td> <td>200 千円</td> </tr> <tr> <td>② 大都市圏における関係人口相談事業</td> <td>500 千円</td> </tr> <tr> <td>③ 阿蘇地域移住定住研修会</td> <td>200 千円</td> </tr> <tr> <td>④ 事務経費</td> <td>200 千円</td> </tr> </table>	① 新たな関係人口創出事業	200 千円	② 大都市圏における関係人口相談事業	500 千円	③ 阿蘇地域移住定住研修会	200 千円	④ 事務経費	200 千円
① 新たな関係人口創出事業	200 千円								
② 大都市圏における関係人口相談事業	500 千円								
③ 阿蘇地域移住定住研修会	200 千円								
④ 事務経費	200 千円								

エ 人材育成事業

(2-②地域づくりを担う人材の育成)

事業内容	地域課題の解決や地域活性化につながるよう、具体的なアクションにつなげるための学び直し（リカレント教育）の機会として、人材発掘や人材交流などを目的としたセミナーや研修会の開催など、人が学びつながら場の提供に努めます。また、ビジネスを通じて地域づくりに取り組む意欲のある次世代の起業支援を行います。 【1 令和7年度 あそ未来創造塾】 人口減少を克服し、地域経済を活性化させるための地方創生の一貫として開講した「あそ未来創造塾」。これまでの成果に加え、阿蘇地域を横断する人的ネットワークを拡充するために、令和7年度も引き続き開講します。 (令和3年度11名、令和4年度11名修了 令和5年度12名修了+聴講生1名 令和6年度14名修了) (熊本大学熊本創生推進機構との連携事業) 【2 地域振興などに関するキャリア教育】 次世代が地域に目を向け、将来的に地域づくりを担うきっかけとなるよう、若年層へのキャリア教育に取り組みます。 ・実施例 令和4年度 小国高校 令和5年度 阿蘇中央高校 令和6年度 高森高校 【3 地域づくりセミナー】 地域づくりなどに関する研修会などを開催し、地域振興を担う人材育成や先進的な取り組みについての見識を深めます。年3回開催を予定。								
予算額	【総額】 4,700千円 <table border="1"> <tr> <td>① 令和7年度 あそ未来創造塾</td> <td>3,750千円</td> </tr> <tr> <td>② 地域振興などに関するキャリア教育</td> <td>150千円</td> </tr> <tr> <td>③ 地域づくりセミナー</td> <td>500千円</td> </tr> <tr> <td>④ 事務経費</td> <td>300千円</td> </tr> </table>	① 令和7年度 あそ未来創造塾	3,750千円	② 地域振興などに関するキャリア教育	150千円	③ 地域づくりセミナー	500千円	④ 事務経費	300千円
① 令和7年度 あそ未来創造塾	3,750千円								
② 地域振興などに関するキャリア教育	150千円								
③ 地域づくりセミナー	500千円								
④ 事務経費	300千円								



▲あそ未来創造塾



▲キャリア教育



▲第3回セミナー

【公益目的事業3 広域連携による競争力のある観光地づくり】

(取組み③ 人や資源を繋げ新たな価値を生み出す)

阿蘇を中心とした他県の周辺地域も巻き込みながら、多様な人材や地域資源をつなげることに
より、阿蘇地域ならではの魅力的なコンテンツづくりに取り組むとともに、国内外からの受け入
れ体制を整え、地域連携 DMO として、観光客と地域住民双方に配慮した持続可能な観光地域づ
くりを目指します。

ア 新たな阿蘇資産の構築・推進

(3-① 付加価値の高い新たな阿蘇資産の創出)

事業 内容	人々の価値観の多様化やコロナ禍後の新たな観光様式などにより、観光地に 求められるコンテンツにも変化が生じています。 阿蘇地域の人々が暮らす場を舞台とした交流機会の創出、地域住民との交流 や体験を目的とした滞在型観光の開発など、「食と農、暮らし、景観」をテーマ とした阿蘇らしい新たな観光ツールを提案します。 【1 付加価値の高いアクティビティの構築】 阿蘇地域の新たなアクティビティとしてロゲイニングを、阿蘇地域の南・ 中・北エリアで4回開催し、その後「観光ロゲイニング」として、各地で開催 されています。 令和6年度より、ロゲイニングの進化系である「デジ タルバッジキャンペーン」という新たなアクティビティ に取り組み、予想以上の参加者数及び経済効果を得るこ とが出来ました。 令和7年度は更なる改善を図り、経済効果を高めます。 デジタルバッジキャンペーンとは・・・ 登山愛好者には山小屋やふもとの売店で販売されている登山バッジを収集する (バッジコレクター)文化があります。 このキャンペーンは山頂などのアウトドアスポットと温泉・物産館などの消費 が見込まれるスポットにランドマーク(訪問スポット)を設定し、ランドマ ークを訪れることによりバッジを取得できるシステムを構築することにより、両 スポットを結び付け阿蘇地域全体で観光消費額の拡大を促進するものとなっ ています。  【2 阿蘇エコツーリズム協会の支援】 阿蘇地域の豊かな自然や景観を地域資源としたエコ ツーリズム協会の体験活動に対し負担します。 【3 阿蘇グリーンツーリズム協議会の支援】 農家民宿の運営者による同協議会を核にした阿蘇地域 における「農泊」を確立することで、アフターコロナに 向けた受け入れ強化を促す体験事業に対し負担します。  【4 阿蘇山上ビジターセンター運営協議会負担金】 平成31年2月に開設された阿蘇山上ビジターセンターの運営協議会に、オ ブザーバーとして参画し、情報を収集するための調査活動に対し協議会費を負 担します。 ▲エコツーリズム共催事業
----------	--

予算額	【総額】 4, 400 千円	
	① 付加価値の高いアクティビティの構築	3, 500 千円
	② 阿蘇エコツーリズム協会負担金	300 千円
	③ 阿蘇グリーンツーリズム協議会負担金	300 千円
	④ 阿蘇山上ビジターセンター運営協議会負担金	100 千円
	⑤ 事務経費	200 千円

イ 何度も訪れたい観光地域づくり

(3-② 何度も訪れたい観光地域づくりの推進)

事業 内容	阿蘇地域への観光客の特徴として、リピーター率が高い傾向があり、何度も訪れる中で地域との関係が生まれ、移住につながるケースも見られます。また、SDGsにおいては、住み続けられるまちづくりのために、都市部と周辺部・農村部が良好につながる必要性が示されています。 そのため、「何度も訪れる旅、通う旅」（リビジット）に向けて、阿蘇地域の四季折々の表情、個性豊かな地域ごとの魅力、地域の食材を生かした食、訪れるたびに得られる発見・体感など、様々な魅力を活かして、何度も訪れたい観光地域づくりに取り組みます。 【1 国内旅行者誘客創出事業】 コロナ感染対策緩和や旅行支援による国内旅行者に向けて誘客に取り組みます。 ・「女子旅」などへの出展 女子旅の需要が高まるなか、阿蘇地域でもいくつかの女子旅コンテンツが造成されています。令和7年度は、ターゲットを平日の観光行動の主流とも言えるシニア女性に絞った阿蘇地域周遊の女子旅キャンペーンを行い、予定されている女子旅フェアに出展します。 また、ツーリズム EXPO 等で好評だった、阿蘇地域の女性が編集した「よかところ」の英語版を作成します。 【2 マイクロツーリズム事業】 来訪者ヒアリングによる調査や SNS のフォロワーの傾向で判明した旅の出発地（関東・関西及び中国地方）や台湾半導体企業（菊陽町）に対し、地域の魅力の再発見を体験する旅の創出に取り組みます。 （阿蘇くまもと空港国際線で映像プロモーション活動等） 【3 阿蘇地域観光推進協議会との連携事業】 阿蘇地域観光推進協議会と「(仮) 冬の阿蘇づくり」事業について連携し、観光閑散期における阿蘇地域への誘客、周遊促進を図ります。	
予算額	【総額】 3, 2 0 0 千円	
	① 国内旅行者誘客創出事業	1, 0 0 0 千円
	② マイクロツーリズム事業	1, 2 0 0 千円
	③ 阿蘇地域観光推進協議会との連携事業	5 0 0 千円
	④ 各種観光 PR 事業	3 0 0 千円
	⑤ 事務経費	2 0 0 千円



(3-③ 市町村連携による観光地域づくりの推進))

▲ツーリズム EXP02024

事業 内容	【4 令和7年度阿蘇地域観光リーダー育成フォローアップ講座】 魅力ある観光地域づくりをリードする「観光人材」を育成するために、各地域の情報収集や調査をもとに、地域全体のレベルアップを図り、引き続き、魅力的な商品企画を提案出来る人材育成を進めます。 令和7年度においては、これまでの事業を検証し、修了生のフォローアップを図り、クオリティーの高いプロジェクトへの取り組みが可能となる人材を育てます。 なお、令和6年度は、関係市町村及び観光協会などから11名の受講生が、それぞれの地域資源などを活かした旅行商品を造成しました。 令和6年度の企画は高品質で実現性の高い商品素材が多数生まれております。 【5 地域観光魅力向上事業】（観光庁） 阿蘇地域の多様な観光資源を生かしたコンテンツの造成を更に進めるとともに、地域資源を生かした収益性が高く独自性・新規性のある観光コンテンツの開発と適切な販路開拓や総合的な情報発信を行い、商談会への参加を図ります。 【6 地方創生プレミアムインバウンドツアー集中展開事業】（観光庁） 高単価な特別体験「プレミアムインバウンドツアー」の造成として、より効果的に消費額拡大を図るために、消費意欲が旺盛なインバウンド客をターゲットに、阿蘇地域が誇る観光資源を生かした高価格帯商品の造成を集中的に行います。 【7 ジオツーリズム・・・阿蘇ジオパーク推進協議会との連携事業】 ジオツーリズム促進の一環として、推進協議会と連携して、発行物の多言語化を進めます。																						
予算額	【総額】35,500千円（補助金等予定額／23,750千円） <table border="0"> <tr> <td>① 全国観光圏連携事業</td><td>1,200千円</td></tr> <tr> <td>② 九州3観光圏連携事業</td><td>300千円</td></tr> <tr> <td>③ 阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議負担金</td><td>1,000千円</td></tr> <tr> <td>④ 令和7年度阿蘇地域観光リーダー育成フォローアップ講座</td><td>3,000千円</td></tr> <tr> <td>⑤ 地域観光魅力向上事業</td><td>12,000千円</td></tr> <tr> <td></td><td>（定率補助 10,000千円）</td></tr> <tr> <td>⑥ 地方創生プレミアムインバウンドツアー集中展開事業</td><td>16,600千円</td></tr> <tr> <td></td><td>（定率補助 12,500千円）</td></tr> <tr> <td></td><td>（受取負担金 1,250千円）</td></tr> <tr> <td>⑦ 阿蘇ジオパーク推進協議会との連携事業</td><td>500千円</td></tr> <tr> <td>⑧ 事務経費</td><td>900千円</td></tr> </table>	① 全国観光圏連携事業	1,200千円	② 九州3観光圏連携事業	300千円	③ 阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議負担金	1,000千円	④ 令和7年度阿蘇地域観光リーダー育成フォローアップ講座	3,000千円	⑤ 地域観光魅力向上事業	12,000千円		（定率補助 10,000千円）	⑥ 地方創生プレミアムインバウンドツアー集中展開事業	16,600千円		（定率補助 12,500千円）		（受取負担金 1,250千円）	⑦ 阿蘇ジオパーク推進協議会との連携事業	500千円	⑧ 事務経費	900千円
① 全国観光圏連携事業	1,200千円																						
② 九州3観光圏連携事業	300千円																						
③ 阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議負担金	1,000千円																						
④ 令和7年度阿蘇地域観光リーダー育成フォローアップ講座	3,000千円																						
⑤ 地域観光魅力向上事業	12,000千円																						
	（定率補助 10,000千円）																						
⑥ 地方創生プレミアムインバウンドツアー集中展開事業	16,600千円																						
	（定率補助 12,500千円）																						
	（受取負担金 1,250千円）																						
⑦ 阿蘇ジオパーク推進協議会との連携事業	500千円																						
⑧ 事務経費	900千円																						



▲令和6年度修了式